

# 普通教室

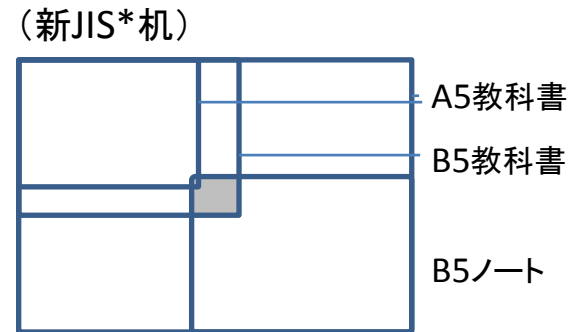
## 1. 普通教室の面積

➤ 1室あたり小学校68m<sup>2</sup>前後、中学校76m<sup>2</sup>前後とする

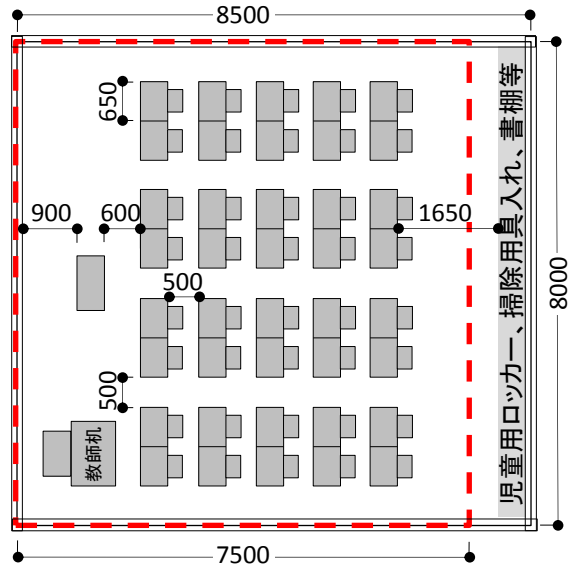
### レイアウトシミュレーション

#### 【前提条件】

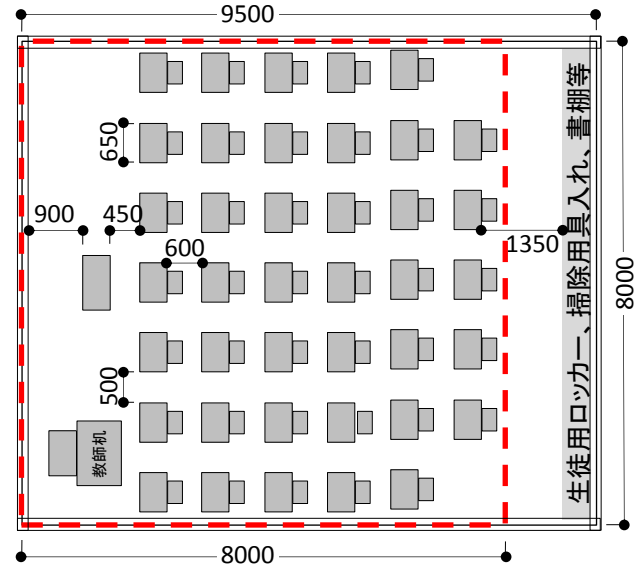
- 机(天板)サイズ  
新JIS規格\*(横650mm×縦450mm)で想定
- 教卓(天板)サイズ  
標準的なサイズ(横900mm、縦450mm)で想定
- 机間の通路幅  
成人男性の平均肩幅(460mm程度)を考慮し、通路幅を500mmで想定
- 机前後幅  
オフィス家具メーカーの参考寸法を参照し、小学校500mm、中学校600mmで想定
- 背面ロッカー奥行  
既製品で最も深い奥行450mmで想定



# 小学校

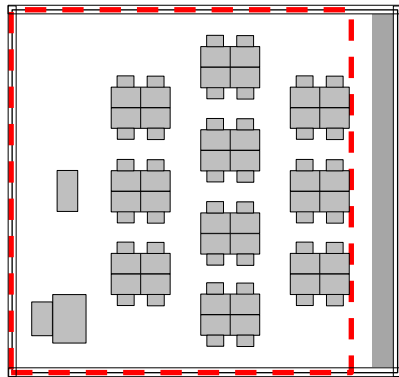


# 中学校

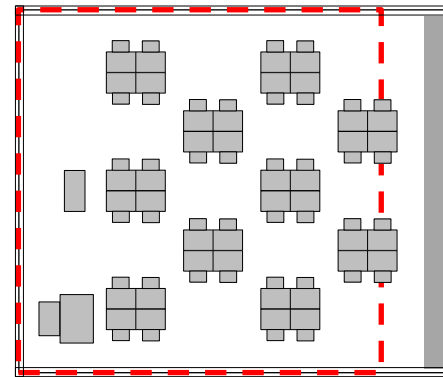


点線：現在の本市の学校の標準的な教室サイズ  
 小学校60㎡(7.5m×8m)、中学校64㎡(8m×8m) (壁芯寸法\*)

小学校グループ学習レイアウト例



中学校グループ学習レイアウト例



## 2. 普通教室の配置

➤ 快適な環境を確保することを前提に、最良の向きを選ぶ

### 南面教室について

#### ① 特徴

日照の影響が大きいため、積極的なコントロールが必要となる。(資料5参照)

#### ② 考えられる影響

夏: 室温上昇

冬: 直射日光と、室内南・北面の温度差発生

#### ③ 必要となる対策

ベランダ、ライトシェルフ\*設置など

#### ④ 本市の南面以外の普通教室

学校	校舎	向き
第五小	西校舎	東
千川小	本校舎(一部)	東
桜野小	本校舎(一部)	北
	西校舎	東

